

既刊「電中研レビュー」ご案内

- NO. 38 「大気拡散予測手法」2000. 3
NO. 39 「新時代に向けた電力システム技術」2000. 6
NO. 40 「原子燃料サイクルバックエンドの確立に向けて」2000. 11
NO. 41 「需要家と電気事業のエネルギーをトータルで考える
需要家の特性解明と省エネ技術」2000. 11
NO. 42 「原子力発電所の人工島式海上立地」2001. 1
NO. 43 「酸性雨の総合評価」2001. 2
NO. 44 「石炭ガス化複合発電の実現に向けて
実証機開発の支援と将来への研究展開」2001. 10
NO. 45 「地球温暖化の解明と抑制」2001. 11
NO. 46 「微粉炭火力発電技術の高度化
環境性の向上と発電コストの低減」2002. 11
NO. 47 「商用周波磁界の生物影響研究」2002. 11
NO. 48 「送電設備の風荷重・風応答評価技術」2003. 2
NO. 49 「未利用地熱資源の開発に向けて
高温岩体発電への取り組み」2003. 3
NO. 50 「電気事業とIT 情報通信技術で変える・変わる」2003. 10
NO. 51 「燃料電池発電技術 MCFC 実用化への挑戦」2004. 3
NO. 52 「コンクリートキャスク貯蔵技術
経済的な中間貯蔵実用化への挑戦」2006. 2

編集後記

電中研レビュー第53号「低線量放射線生体影響の評価」をお届けいたします。

原子力を含めた各種産業での放射線利用の展開、医療における放射線利用の拡大、さらには高い高度を飛ぶ航空機の利用の増大や宇宙空間への進出など、人間と放射線のかかわりがますます深くなる中で、今ほど低線量放射線の影響評価が求められた時代はかつてなかったかもしれません。

放射線が発見されて100年近くの間、人間は低線量の放射線の影響、低線量放射線に対する生体の応答を見過ぎてきました。しかし、調べれば調べるほど、巧妙な仕組みが備わっていることに驚きます。

放射線の影響に関する固定観念が揺らいできている様子、単に現象論だけではなく、そのメカニズムも明らかになりつつある様子、さらに、固定観念を越えた所に、放射線防護や放射線の医学利用といった非常に重要な問題に大きく貢献できる可能性が広がっていることを感じていただければと願っています。

本レビューに掲載されている成果は、低線量放射線研究センターの総力を上げて取りまとめたものですが、幅広い分野をカバーするために、数多くの国内外の研究者の方々に御協力をいただきました。お名前は第1章の(2)(p8)に掲載されていますが、ここで改めて感謝の意を表したいと思います。



電中研レビュー NO.53

平成18年3月27日

編集兼発行・財団法人 電力中央研究所 広報グループ
〒100-8126 東京都千代田区大手町1-6-1 [大手町ビル7階]
☎ (03) 3201-6601 (代表)
E-mail : www-pc-ml@criepi.denken.or.jp
<http://criepi.denken.or.jp/>
印刷・株式会社 ヨウワビジネス

本部 / CS推進本部 〒100-8126 東京都千代田区大手町1-6-1 ☎ (03) 3201-6601

狛江地区 : 社会経済研究所 / システム技術研究所 / 原子力技術研究所 / 材料科学研究所 (狛江オフィス) / 狛江運営センター / 事務センター
〒201-8511 東京都狛江市岩戸北2-11-1 ☎ (03) 3480-2111

我孫子地区 : 地球工学研究所 / 環境科学研究所 / 我孫子運営センター 〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子1646 ☎ (04) 7182-1181

横須賀地区 : 電力技術研究所 / エネルギー技術研究所 / 材料科学研究所 / 横須賀運営センター 〒240-0196 神奈川県横須賀市長坂2-6-1 ☎ (046) 856-2121

赤城試験センター 〒371-0241 群馬県前橋市苗ヶ島町2567 ☎ (027) 283-2721 塩原実験場 〒329-2801 栃木県那須塩原市関谷1033 ☎ (0287) 35-2048



この冊子は大豆油墨で印刷されています



古紙配合率100%の再生紙を使用しています